

《第78回》令和元年九月の作品

〈九月十三日（金）於・文京区民センター3E〉

秋暑しにはか舞妓の下駄の音

（一江）

万緑の棚田にありし気品かな

（清助）

孫たちの射的にはしる秋祭

（貴美）

秋澄むやせせらぎの音高まれり

（正雄）

紫蘇の実の無人駅舎に香りけり

（前歩）

冠着かむりきの名月しのび一人酒

（正佳）

浮き玉に鱗の残る浜の秋

（隆治）

台風十五号

台風一過電気と水の無き生活たつき

（奉男）

秋高し白光一閃ジェット行く

（孝昭）

渋滞のフロントガラスに宵の月

（平六）